

令和8年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

# 教育課程部会 実施案内

変革の時代を超えて～教育の本質に挑む～

予測不能な時代を生き抜くために、未来の社会をデザインしていく必要がある。そのために分野を超えて社会課題にチャレンジし、新たな価値や解決策を生み出していく。本年度当部会ではAIの飛躍的な進化を受けて、人間が担うべき役割を考察する。そして、バックキャストして柔軟な発想力を持って新たな教育を探究していく。さらに先見性・先進性の上に独自性を発揮する、私学ならではの教育の実現を目指す機会としたい。

令和8年  
5月14日(木)  
～15日(金)

14日 ホテル日航福岡 / 福岡朝日ビル

15日 東福岡自彊館中学校・東福岡高等学校

募集人数 120名

参加対象 理事長・校長・副校長・教頭・教務主任及び教員

※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

参加費 28,000円

※初日昼食費・教育懇談会費を含む。宿泊費別

講演Ⅰ・ワークショップ

「探究心を育むための環境と仕組み」(仮)

田中悠樹 株式会社Study Valley代表取締役

講演Ⅱ・ワークショップ

「リベラルアーツの視点で捉える中等教育」

上田紀行 東海学園大学特命副学長・卓越教授

東京科学大学特命教授・東京工業大学特命教授

学校視察 (視察内容)

東福岡自彊館中学校・東福岡高等学校

学校紹介・授業視察・実践報告・施設見学・全体会(質疑応答等)

★研究討議や教育懇談会等、交流プログラムの実施も予定しています。

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
初日		30	受付	開 会 式	講演Ⅰ ワークショップ (90分)	休憩 昼食	講演Ⅱ ワークショップ (90分)	休憩 移動	研究討議 (100分)	休憩 移動	教育懇談会 (90分)	
2日目		受付	学校視察 (180分)									

○主催：一般財団法人日本私学教育研究所 ○後援：日本私立中学高等学校連合会

一般財団法人日本私学教育研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8市ヶ谷UNビル6階 電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683

<https://www.shigaku.or.jp/>

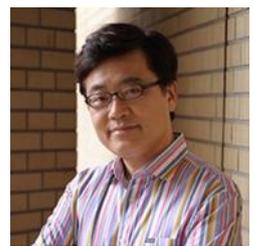


## ◆ 視察校紹介 ◆

<b>東福岡自彊館中学校・東福岡高等学校</b>	理事長・高校校長：徳野慎一郎／中学校長：吉村 暢泰
スクール・ミッション「地域に、社会に、世界に、開かれた学校」	
教育目的(育成する生徒像)「人とつながり、世界とつながり、未来とつながる人」	
教育目標(育成を目指す資質・能力)「自学力・課題発見力・挑戦力・協働力・創造的問題解決力」	
1945年に「日本の再建は教育の振興によるべき」という創立者の想いから福岡米語義塾を設立し、1955年に東福岡高等学校、1999年に東福岡自彊館中学校を開校。建学の精神に基づいて、特に進学に重点を置き、生徒の大学進学志望率は9割を超えている。	
時代が大きく変化する中、自ら考え、選択・判断し、行動できる「自律した生徒」の育成を目標に、2030年をゴールとする学園ビジョンを策定。2025年度入学生から生徒の学びへの意欲や目的意識の醸成を重視して、従来の習熟度別コースから目的別コースに改編・新設。フロンティアコース(特徴：地域や社会とつながる活動)、文理共創コース(特徴：文理を超えた探究活動)、国際教養コース(特徴：リベラルアーツと国際性)、医進・サイエンスコース(特徴：学びの楽しさと理数系の追究)、自彊館コース(中高一貫)を設置するとともに、男子校から共学校に移行した。	
教育理念「親の心を心とした教育 親の願いを願いとした教育」「努力に勝る天才なし」「意志あるところ道あり」を継承しながら、子どもたちの未来を見据えて、実学教育・キャリア教育・グローバル教育を実践している。	

## ◆ 講師プロフィール ◆

<b>田 中 悠 樹</b>	株式会社 Study Valley 代表取締役
東京大学大学院卒業後、ゴールドマンサックス証券テクノロジー部に入社。株式会社リクルートホールディングスではスタートアップへの出資を担当。様々な企業へ投資を経験する中で、日本の未来を変えるためには子どもたちの教育の拡充が重要であると考え、2020年に起業。	
現在は、テクノロジーを活用し教育における課題を解決することをミッションに掲げ、子どもが半自立的に勉強したくなる仕組みを作るためのプラットフォームの開発に注力している。地域企業と学校をつなげるための地域密着型の探究学習支援にも力を入れる。また、2020年から、経済産業省主催の教育プラットフォーム STEAM ライブラリーの技術開発を担当。	
<b>上 田 紀 行</b>	東海学園大学特命副学長・卓越教授 東京科学大学特命教授・東京工業大学特命教授
東京大学理科二類、教養学科を経て、大学院博士課程文化人類学専攻単位取得退学。1996年より、東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻准教授。リベラルアーツ研究教育院長、副学長(文理共創戦略担当)、学長特別補佐等を経て、2024年4月より東海学園大学特命副学長・卓越教授。東京工業大学では学生による授業評価が全学1200人の教員中第1位となり、2004年に「東京工業大学教育賞・最優秀賞」を授与された。同学の教育改革にも深く関わり、新時代のリベラルアーツ教育を切りひらく中心を担った。	
著書『生きる意味』(岩波新書)はこれまで100以上の大学の入試問題となっているほか、数社の高校国語教科書にも掲載されている。その他の共編著書に、2020年『新・大学でなにを学ぶか』2021年『とがったリーダーを育てる一東工大「リベラルアーツ教育」10年の軌跡』等がある。	



## ◆研修会日程・プログラム◆

【初 日】5月14日(木)		〈全体会場〉ホテル日航福岡新館2階「ラメール」	
10:00~10:30	◇受付◇		
10:30~11:00	◇開会式◇	司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長	
	1. 開会		
	2. 主催者代表挨拶	吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長	
	3. 役員・専門委員紹介		
	4. 研修会運営方針説明	森 涼 教育課程専門委員長	
	5. 日程説明		
	6. 閉式		
11:00~12:30	◇講演Ⅰ・ワークショップ◇	司会・講師紹介・謝辞 教育課程専門委員	
	演 題 探究心を育むための環境と仕組み(仮)		
	講 師 田中 悠樹 株式会社 Study Valley 代表取締役		
12:30~13:30	◇昼 食◇		会場：全体会場
13:30~15:00	◇講演Ⅱ・ワークショップ◇	司会・講師紹介・謝辞 教育課程専門委員	
	テーマ リベラルアーツの視点で捉える中等教育		
	講 師 上田 紀行 東海学園大学特命副学長・卓越教授 東京科学大学特命教授・東京工業大学特命教授		
15:00~15:30	◇休憩・移動◇		
15:30~17:10	◇研究討議◇	会場：福岡朝日ビル地下1階「11~16 会議室」	
	テーマ 変革の時代を超えた教育の本質とは		
	6つの会場に分かれ、小グループで参加各校の現状や課題等について意見交換を行います。 (司会は参加者が務めます)		
17:10~17:30	◇休憩・移動◇		
17:30~19:00	◇教育懇談会◇	会場：ホテル日航福岡本館5階「志賀の間」 司会・進行 教育課程専門委員	
	1. 主催者挨拶	平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長	
	2. 乾杯	教育課程専門委員	
19:00	◇解散◇		
【2日目】5月15日(金)		〈会場〉東福岡自彊館中学校・東福岡高等学校	
9:00~9:30	◇受付◇		
9:30~12:30	◇学校視察◇	司会 坂 澤 茂 樹 東福岡自彊館中学校・東福岡高等学校総括教頭	
(9:30~9:40)	○視察校代表挨拶	徳 野 慎一郎 東福岡自彊館中学校・東福岡高等学校理事長・高校長	
(9:50~10:35)	○授業視察・施設見学	第2校時の授業を視察します。	
(11:00~12:00)	○学校説明・実践報告	林 健 二 東福岡高等学校教頭	
(12:00~12:20)	○全体会(質疑応答)	吉 村 暢 泰 東福岡自彊館中学校長	
	○総括・お礼の言葉	教育課程専門委員	
12:30	◇解散◇		

※プログラム・内容は変更となる場合があります。

◆指導員・講師(順不同)◆

田中悠樹	株式会社 Study Valley 代表取締役
上田紀行	東海学園大学特命副学長・卓越教授 東京科学大学特命教授・東京工業大学特命教授
徳野慎一郎	東福岡自彊館中学校・東福岡高等学校理事長・高校長
吉村暢泰	東福岡自彊館中学校長
坂澤茂樹	東福岡自彊館中学校・東福岡高等学校総括教頭
林健二	東福岡高等学校教頭
吉田晋	富士見丘中学高等学校理事長・校長
平方邦行	一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長
森涼	学校法人石川高等学校・石川義塾中学校理事長・校長
大羽聡	千葉英和高等学校理事長・校長
松谷茂	学校法人文化杉並学園理事長
鈴木弘	学校法人香蘭女学校理事長
齋藤真人	立花高等学校校長
広石英記	東京電機大学副学長
川本芳久	一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長

◆研修会場・視察校のご案内◆

研修会場		視察校
<b><u>ホテル日航福岡</u></b>	<b><u>福岡朝日ビル</u></b>	<b><u>東福岡自彊館中学校</u></b> <b><u>東福岡高等学校</u></b>
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-18-25	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-24-1
TEL 092-482-1111	TEL 092-431-1260	TEL 092-411-3702
JR 博多駅博多口より徒歩 3 分 ※アクセスは以下の QR コードから ご覧下さい	JR 博多駅博多口より徒歩 2 分 ※アクセスは以下の QR コードから ご覧下さい	JR 博多駅筑紫口より徒歩 15 分 地下鉄空港線東比恵駅徒歩 5 分 ※アクセスは以下の QR コードから ご覧下さい
		

※会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用下さい。（お車での来校はご遠慮下さい。）

## ◆参加者へのお願い◆

### ①研修会場での動画・写真撮影等について

- ・当研修会での主催者記録係・取材メディア以外による録画・録音は禁止します。
- ・講師・発表者等の許可無く研修会の写真・内容等のホームページ・ブログや各種 SNS 等へのアップロードは禁止します。
- ・撮影した動画・写真は当研究所広報活動(刊行物・ホームページ掲載等)や取材メディアの新聞掲載等で使用する場合があります。会場内の様子を撮影する関係上、参加者が写真や動画に映り込む可能性がありますので、予めご了承下さい。

### ②視察校での動画・写真撮影について

- ・動画撮影については禁止します。
- ・生徒個人が特定できる顔写真等の撮影は禁止します。
- ・撮影した写真は学校内の研修や報告等に活用する場合に限り使用を許可しますが、学校のホームページや紀要・報告書等への掲載、各種 SNS 等へのアップロードは禁止します。
- ・撮影写真の使用後は速やかに破棄して下さい。
- ・視察中は視察校の指示に従って行動して下さい。

## ◆令和 7 年度の研修会の様子◆

### ★講演（藤村裕一氏）



### ★講演（宮島衣瑛氏）



### ★研究討議



### ★教育懇談会



### ★学校視察（全体会）



### ★学校視察（授業見学）



## ◆令和 7 年度の研修会のアンケート(抜粋)◆

- ・現行の学習指導要領における「主体的な学び方の訓練」の位置づけや、探究活動と学力の関係性についての明確な説明もあり、今後の校内研修や授業改善に向けた具体的な方向性を得ることができた。（講演）
- ・「人はなぜ学ぶのか」「学校は何のためにあるのか」といった根源的な問いを教職員間で共有することの重要性が語られ、教育の目的や価値を再確認する機会となった。（講演）
- ・他校の具体的な取り組みや課題を知ることで、自校の教育環境を客観的に見直す機会となり、共通する悩みや現場の困難さも共有された。（研究討議）
- ・教科や役割、地域を越えた多様な交流が実現し、学校間の情報共有や人間関係の構築に大きな意義があった。（懇談会）
- ・教員が楽しみながら授業に取り組む姿勢や、学校全体で同じ方向を向いて改革を進めている様子は、教育環境の充実と生徒の成長を支える基盤として非常に参考になった。（学校視察）

## ◆参加申込方法◆

本研修会への参加は、以下のいずれかの方法でお申し込み下さい。  
手続きがスムーズなオンラインフォームのご利用をお勧めしております。

### 1. オンラインフォームによるお申し込み（推奨）

- ・お手持ちのスマートフォンやPCから以下の URL または QR コードにアクセスし、必要事項を入力して送信して下さい。

オンラインフォーム

<https://shigaku.movabletype.io/2026kyouikukatei.html>



### 2. メールまたは FAX によるお申し込み

- ・「参加申込書」に必要事項をご記入の上、以下の宛先にお送り下さい。
- ※メールの場合は「参加申込書」の PDF データを添付し、件名に「教育課程部会申込」と記載して下さい。

メールまたは FAX

メール : [kenshukai@shigaku.or.jp](mailto:kenshukai@shigaku.or.jp) FAX : 03-3222-1683

### 3. 申込締切と定員について

- ・申込は先着順に受付けます。募集人数を超えた場合は期日前でも締切となる場合があります。
- ・申込を締切った場合は当研究所ホームページでお知らせします。

**申込締切日 4月28日（火）必着**

### 4. お申し込み後の流れとお支払い

- ・受付後、「参加確認証」「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」を郵送します。
- ・参加費は「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」で、指定されたコンビニエンスストアで上記の振込期限までにお振込下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。
- ・「参加確認証」は、研修会当日受付にご提示下さい。
- ・お申し込みから 2 週間が経過しても「参加確認証」等が届かない場合は電話でご連絡下さい。  
(TEL 03-3222-1621)

**参加費振込期限・キャンセル期限 4月28日（火）**

### 5. 変更・キャンセルについて

- ・必ずメールまたは FAX で日本私学教育研究所へご連絡下さい。
- ・変更の場合は「参加確認証(再発行)」を郵送します。キャンセルの場合は「キャンセル確認書」をメールまたは FAX で返信します。

※メールの場合は「件名」に「教育課程部会 キャンセル」と記載して下さい。

キャンセルポリシー	
4月28日(火)迄のキャンセル連絡	4月29日(水)以降のキャンセル連絡・当日無断欠席
事務手数料 1,000 円を差引いた参加費を返金します。	参加費の返金はできません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として参加費全額を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。

### ◆個人情報の取扱いについて◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の各種研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用します。

### ◆傷害保険について◆

当研修期間中の参加者等の傷害保険には加入しませんのでご承知置き下さい。

# 令和8年度 私立学校専門研修会・教育課程部会 参加申込書

申込み締切日：4月28日（火）

※FAXにてお申込みの際は送信前にFAX番号をご確認下さい。0(ゼロ)発信のFAX機で送信する場合は、「0」を押してから、FAX番号を押して下さい。

手続きがスムーズな[オンラインフォーム](#)のご利用をお勧めしております。

申込書 送付・ 送信先	一般財団法人日本私学教育研究所「研修会担当事務局」宛 TEL03-3222-1621 メール： <a href="mailto:kenshukai@shigaku.or.jp">kenshukai@shigaku.or.jp</a> （本申込書のPDFデータを添付の上、お送り下さい。） ※メールでお申込みの際は、「件名」に「教育課程部会申込」と記入して下さい。 FAX：03-3222-1683（FAX送付状は不要です。）
-------------------	---

記入日 令和8年 月 日

参加者氏名	(ふりがな)	職名	
		担当教科	
		教員年数	年目
※職名、担当教科、教員年数は研究討議グループ編成の際に参考にさせていただきます。教員年数は（非常勤等）講師期間を含む。			
学校（法人）名			
学校（法人）住所	〒		
	TEL ( )	FAX ( )	
※参加確認証を上記の参加者ご本人、または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先及び受取人氏名をご記入下さい。			
参加者連絡先	携帯電話番号 ( ) ※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号をご記入下さい。		
メールアドレス	※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス(携帯電話のメールは不可)をご記入下さい。		
研修会参加動機			

## 事前アンケートについて

講師・視察校への質問事項等、研究討議に関する事項を  
QRコードまたは下記リンクから、4月28日（火）迄にご回答下さい。  
※必ず参加申込後に回答してください。



通信欄	
	受付番号

※手続きがスムーズな[オンラインフォーム](#)のご利用をお勧めしております。  
本参加申込書で申込を行う場合は、メールまたはFAXでお申込下さい。  
複数名の参加の場合は、本参加申込書をコピーしてお使い下さい。